

さくら咲く
笑顔咲く
大口町

2019 ミニ町勢要覧

大口町



大口町長
鈴木雅博

本町は、地方分権時代を迎えた当初から、自立と共助のまちづくりを掲げ、まちに関わる色々な方々が主体的に考え取り組む、地方自治の原点に立ったまちづくりを進めてまいりました。

お陰様で本町には、地域自治組織の活動や安全安心のまちづくり、地域包括ケアシステムなど、時代の流れに先んじて行動する、住民の皆様方の想いとマンパワーがあり、今後も着実に歩みを重ねられていくと確信しているところでございます。

少子高齢社会が緩やかに進む中、バランスある人口構成を維持させていくために、町民の皆様に、大口町の魅力を知っていただく取り組みとしてシティプロモーション事業を推進しております。「大口町に住んでいてよかった。」と実感していただけるよう、郷土愛を深め「大口町民としての誇りの熟成」を図ります。また、安心で幸せな健康長寿社会の実現は、行政施策として実施するよりは、各々の方の自覚に基づく自主的な活動の方が、継続性が担保され、効果的ではないかと考え、健康づくり、生きがいづくりなどの拠点となる健康文化センターや学習等共同利用施設の改修に取り組んでまいります。

先人が培ってきた自立可能なこのまちを、将来の世代に引き継いでいくためには、50年後のまちの礎となる、産業振興や生活基盤整備が必要となります。また、道路網の整備は、将来展望を持って地道に継続して取り組み、より良い暮らしの実現につながる、大きな可能性を秘めた「まちづくり」であります。

私は先人から受け継いだ、この暮らしやすいまちを、子や孫の時代に受け渡してゆきたいと、そう思う一心であります。

そのためには、歴史や経験から学んだ知恵を、時代の変化に合わせてアレンジして、さらに、慣例や経験にとらわれず判断して結果や評価を恐れず行動できる、そんな人財が不可欠だと思います。

今後も、このまちに関わる、より多くの人財が得手な分野で活躍することで幸福感を得て、その活躍が結果として地域に貢献する、そしてさらに、その輪がどんどん波及して連鎖し拡がってゆくまちの人々が、誇りを持てるまち、活力あるまちを目指してまいります。

(平成31年度「施政方針」から抜粋・再編)



自然



町の木 もくせい



町の花 さくら

町の位置及び地質・気象

大口町は愛知県の西北部にあり、犬山扇状地の東南部に位置する「木の葉」の形をした町域のまちです。東西約3.6キロメートル、南北約6.1キロメートル、総面積は13.61平方キロメートル。海拔40メートルから海拔15メートルのゆるい傾斜になっており、地質は木曾川からの土砂の堆積による沖積層をなし、耕作に適したものとなっています。

大口町は、年間を通じて比較的温暖で降雨量も適量といえます。しかし、冬場は冷たく乾いた北西風「伊吹おろし」が吹くため、気温以上の寒さを体感します。



作物・特産品



1. 桜酵母五条川桜おおくち 2. ジェラート（麦茶・桜） 3. 酒粕ブッセ おおくち酒浪漫 4. 麦茶五条川 5. 奈良漬
 6. 桜口サブレ 7. さくらあられ・麦茶あられ 8. 山姫五穀サブレ
 1・3・5・6・8は、ふるさと寄附の返礼品としても活用しています。

六条大麦 愛知県内では、丹羽郡のみの生産作物。美味しい麦茶などに変身します。

桜酵母 日本桜の名所百選「五条川桜並木」。10年探しても見つからないこともあるという酵母が、五条川に咲く1000枚の桜の花びらの中から1枚だけ採取できた奇跡の酵母。桜酵母を使って日本酒造りに成功し、他にも漬物やブッセなどの特産品に用いられています。

平成28年には、新たに、桜酵母を使ったジェラートやあられなどの特産品が仲間入りをしました。

町の沿革

明治22年10月の町村制により、富成村、小口村、太田村の3か村ができました。明治28年に小口村の余野地区が柏森村（現扶桑町柏森）に合併されましたが、明治39年には、富成村、小口村、太田村の3か村と、柏森村の一部であった余野が合併し、現在の大口町の基礎である大口村が誕生しました。

昭和37年4月には、大口村から大口町になりました。

産業では純農村だった町が、昭和30年代から始まった企業誘致策により、現在では、約660社となり多くの方が働くまでに発展をしています。

※ 平成30年度 法人町民税均等割納税義務者数

文化財 史跡



八劔社拝殿

幕末の文久3(1863)年に再築されたもので、明治35年に修理を受けていますが当初の部材を比較的好く残しています。彫刻は妻側に竜と唐獅子、桁側に狩獵図や騎旅図など何かの古事・物語の状景が展開されています。



小口城址公園

小口城の歴史的な移り変わりや出土品などを紹介する「展示棟」、小口城からの眺望を再現する「物見櫓」、歴史的情緒あふれる「門・堀・橋」が皆さんを戦国時代へと誘います。



仁所野遺跡

白山神社境内を中心に弥生時代から古墳時代の墳墓群があり、昭和35年6月8日に大口町指定文化財第1号となりました。



鑄鉄地藏菩薩立像（汗かき地藏）

長松寺のご本尊で県の指定文化財です。世の中に異変がある時や、信者が災難にあった時には必ず多くの汗をかきといわれています。



徳林寺山門・中門

山門は、犬山城の第一黒門を明治9年に移築したものです。山門の奥に見える中門は文明7(1475)年、小口城主織田広近によって建立されたと伝えられています。

松江市・大町姉妹都市提携

平成27年8月29日、松江城と城下町を整備し、「松江開府の祖」と称される堀尾吉晴公の生誕地が大町という縁で、姉妹都市提携が結ばれました。

400有余年にわたる堀尾吉晴公とのお縁を受け継ぎ、両市町の行政間における情報交換や施策交流、民間交流の更なる拡大を進めています。



国宝松江城マラソン 2018

第1回国宝松江城マラソンに大町派遣ランナー7名が参加しました。



ふれあいまつり

まつえ若武者隊をひきつれ、松江市から来ていただきました。大町元気戦隊ダッシュマンとのコラボ舞台を披露しました。



松江だんだん夏踊り

大町町から、踊りチームが出かけ、松江市の皆さんと一緒に「oh! やろ舞い! 大町!」を踊りました。



堀尾氏邸宅跡

堀尾吉晴公をはじめとした堀尾氏累代の邸宅跡。堀尾氏は織田信長、豊臣秀吉、徳川家康の三英傑に仕え、出雲・隠岐両国 24万石を領したといわれています。



堀尾跡公園

堀尾金助とその母の「裁断橋物語」をテーマに、子を想う母の心を後世に伝える歴史公園です。

※金助と堀尾吉晴公の関係については、諸説あります。

大口町パンorama図



ビオトープ



大口北保育園



多世代が集う憩い広場



大口中学校

岐阜県各務ヶ原
航空自衛隊岐阜基地

扶桑町



歴史民俗資料館(健康文化センター3階)

江南市

五条川

4



大口町温水プール



大口南小学校



大口西小学校

まちづくり基本条例の概要

大口町まちづくり基本条例は、大口町のまちづくりの基本的な理念やルールなどを明らかにしたもので、地域の皆さんをはじめとするまちづくりの担い手と、町議会、行政が一体となって「参加」と「参画」のまちづくりを進める基本規範となるものです。



北地域自治組織「北地域避難・防災訓練」

「まちづくり基本条例」の6つの制度

意見や提案を町政へ

1 まちづくり提案会議

みなさんからのまちづくり提案を、提案者と一緒になって考えます。

2 政策検討会議

重要な条例や計画等を定めるときは、みなさんに説明し、直接、意見や提案を伺います。

3 意見公募手続

重要な条例や計画等を定めるときは、事前に案を公表し、メール等で意見や提案を伺います。

※ 政策検討会議と意見公募手続のいずれか一方を選択することができます。



平成30年度 地域懇談会

まちづくりの情報を共有

4 出前対話

みなさんの要望に応じて、町の事業などの説明や意見交換を行います。

夢を描き語り合う

5 地域懇談会

まちの将来像やまちづくりの方針について、テーマを設けて、懇談する機会をつくれます。

平成30年度のテーマ

「防災～皆さんの備えは万全？
今、一人ひとりにできること～」

意志を直接示す

6 住民投票制度

まちの将来に大きな影響を及ぼすような重大な案件の賛否を、「住民投票」で意思表示することができます。

「協働」への取り組み



第17回 五条川自然塾



南地域自治組織 防災訓練



れんげまつり



基本目標①

次代を担う 子ども・若者の育成

子育てや子ども・若者を地域全体で見守り育むことで、子育て世代が安心して子どもを産み育てられる環境づくりを進めるとともに、学校・地域・家庭の連携による教育力の向上を通じて、子どもたちの確かな学力や個性を伸ばし、自立して生き抜く力を育むことで、大口町の次代を担う人づくりを推進します。

基本目標②

健康で安心な暮らし

年齢や障がいの有無に関わらず、誰もが住み慣れたこの大口町でいきいきと自分らしく生活できるように、ライフステージに応じた健康づくりに取り組むことができる環境を整えるとともに、医療や福祉、介護等の関係機関との連携による包括的な支援体制の構築と、適切な医療・介護サービスの提供に努めます。

また、身近な暮らしにおける支え合い・助け合いの地域福祉を充実させるとともに、各種社会保障制度の啓発と適正な運用を進めることで、安心して暮らし続けられる環境づくりを推進します。





基本目標③

災害や犯罪に強く 豊かな生活基盤を 創造する

災害や犯罪、交通事故などから住民の大切な生命や財産を守るために、災害に強い都市基盤の整備を進めるとともに、関係者間の連携を通じて地域の自主的な防災・防犯・交通安全活動の一層の充実を図り、安心して暮らせる安全なまちづくりを進めます。

また、豊かで快適な日常生活や地域経済の発展を支えるために、効率性や安全性、環境に配慮した道路環境の整備や、既存ストックを活かした計画的かつ魅力的な市街地形成、安全・安心な住まいの確保、衛生的で良好な水辺環境づくりを進めます。

基本目標④

人の知恵・技・情報が 活きる元気コミュニティを創造する



より多くの住民が、地域での居場所や仲間を得て、生涯を通じて生きがいを持って暮らすことができるように、住民の主体的な生涯学習・スポーツ活動の充実に努めるとともに、地域に根ざした歴史・文化資源の保全及び次世代への継承、図書館を核としたひと・モノ・情報・文化の交流などを推進します。

また、性別や国籍、文化の違いを問わず、誰もが地域社会の一員として互いに尊重し協力し合えるように、男女共同参画や国際交流、多文化共生を推進し、多様性を認め合える活力あるコミュニティの創造に努めます。



基本目標⑤

未来へと引き継ぐ 環境保全と まちの活力を創造する

未来に向けて、豊かな自然環境や快適な住環境を継承していくために、「ごみの減量やリサイクル、環境衛生の推進、生物多様性の保全などにより、環境負荷の少ない循環型地域社会の形成に努めるとともに、身近な農地や河川、公園、緑地などの自然環境の保全、整備により、うるおいのあるまちづくりを進めます。

また、本町の成長力の源となる農業・商業・工業のバランスのとれた地域産業の活性化に向けて、産業集積や交通便利性などの強みを活かした新たな産業の誘致や育成、既存企業の高度化や人財育成・確保等を進め、合わせて安定した雇用機会の確保・創出に努めます。

※人(住民)をまちの「財」(＝宝)として捉え、「人材」を「人材」と表現しています。

基本目標⑥

持続可能な地域経営

将来世代に負担を残すことのない持続可能な地域経営を推進するために、行政区や地域自治組織の組織・活動の強化・充実を図るとともに、まちづくり団体やNPO等の活動支援などにより、自立と協働のまちづくりを一層推進します。

また、住民の満足度の高い効率的かつ効果的な行政経営と健全な財政運営に向けて、継続的な行政改革と民間活力の積極的な導入に努めるとともに、多様な媒体や手段による広報・広聴の充実、情報公開と個人情報保護の適切な運用等により、住民の意向を反映した透明性の高い施策・事業を推進します。



まちづくり戦略

人口減少時代・超高齢社会を迎え、本町が将来にわたって持続的に発展していく上で今なすべきこととして必要不可欠な3つのテーマを「まちづくり戦略」として設定しました。様々な分野に横断する「まちづくり戦略」に基づき、相乗効果を発揮させながら各施策・事業を実施していきます。

若い世代の定住・子育て支援

バランスある人口構成を
持続させていくための戦略

- 実施方針1 子育て世代の移住・定住の促進
- 実施方針2 子どもを産み育てるサポート体制の充実
- 実施方針3 将来に夢が持てる確かな学びの推進

健やかな暮らしづくり

安心・幸せな健康長寿社会形成のための戦略

- 実施方針1 健康寿命の延伸
- 実施方針2 住み慣れた地域で安心して住み続けられる地域福祉活動の推進
- 実施方針3 持続可能な地域経営・行政経営の推進

活力ある産業づくり

将来世代の経済的な豊かさのための戦略

- 実施方針1 既存産業の売上アップ
- 実施方針2 新たな企業の立地促進
- 実施方針3 優秀な労働力の持続的な確保





企画・編集／大口町総務部政策推進課 発行／平成31年4月
〒480-0144 愛知県丹羽郡大口町下小口七丁目155番地 TEL／0587-95-1617
ホームページ <http://www.town.oguchi.lg.jp/>
Eメール kouhou@town.oguchi.lg.jp